

シンポジウム

G空間社会の形成と地域空間のデザイン（Ⅱ）

スマートシティ構想の動向と人材育成

主催：日本建築学会 情報システム技術委員会 地域空間情報デザイン小委員会

昨今、ICT 技術を活用した効率的な都市サービスを提供する「スマートシティ」が持続可能な都市を実現する手法として期待されており、G 空間社会（地理空間情報高度利用社会）の形成は様々な分野で着実に進んでいる。産官のスマートシティ構想の動向紹介と、推進を担う人材育成の現場の事例紹介を行い、アフターコロナ／ウィズコロナ対応の観点も交えながら、今後の展開についての議論を行う。

■日時：2020年10月23日（金） 13時00分～16時25分

■場所：オンライン（Zoom 参加用ID・パスコードは10月20日頃メールにて通知）

■プログラム：

・趣旨説明：中澤 公伯 委員（小委員会主査・日本大学）

・講演5題

1) スマートシティ構想の現状と課題

石井 儀光 講師（国土技術政策総合研究所）

2) G 空間情報センターの紹介と今後の展開

岩崎 秀司 講師（G 空間情報センター）

3) グローバル企業からみた地域空間デザインと GIS の活用可能性

吉田 彰 講師（SAP ジャパン）

4) 立命館大学の建築情報学系カリキュラムの紹介

山田 悟史 委員（立命館大学）

5) 自治体のスマートシティ構想に見られる GIS の応用—どのような人材が求められているのか—

大場 亨 委員（市川市役所）

・パネルディスカッション

パネリスト：石井 儀光 氏、岩崎 秀司 氏、吉田 彰 氏、山田 悟史 委員、大場 亨 委員

モデレータ：阪田 知彦 委員（建築研究所）

司会：小林 祐司 委員（大分大学） / 記録：北垣 亮馬 委員（北海道大学） / 資料編集：藤井 健史 委員（立命館大学）

■申込詳細：

・定員：30名（申込先着順）

・参加費：会員 2,000 円 / 会員外 2,500 円 / 学生 1,000 円（PDF 資料代含む）

・申込方法：下記 URL よりお申し込みください。

<https://www.aij.or.jp/event/detail.html?productId=636894>

・申込締切：2020年10月16日（金）

※申込締切を延長いたしました。

■問合せ：日本建築学会事務局 事業グループ 高畑 TEL:03-3456-2057 E-mail: takahata@aij.or.jp